



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月31日

上場会社名 日進工具株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6157 URL <https://www.ns-tool.com>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 弘治  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長兼管理部長 (氏名) 戸田 覚 TEL 03-6423-1135  
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,749	△8.3	1,348	△18.9	1,362	△17.6	928	△17.1
2023年3月期第3四半期	7,360	1.1	1,663	△0.6	1,653	△3.1	1,120	△5.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 979百万円 (△18.3%) 2023年3月期第3四半期 1,197百万円 (△0.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	37.27	36.96
2023年3月期第3四半期	44.93	44.54

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	18,546	17,359	92.5	690.37
2023年3月期	18,857	17,200	90.1	680.51

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 17,155百万円 2023年3月期 16,984百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	10.00	-	12.50	22.50
2024年3月期	-	15.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	12.50	27.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	△6.8	1,600	△24.1	1,610	△24.5	1,100	△25.4	44.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	25,035,034株	2023年3月期	25,035,034株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	185,138株	2023年3月期	75,866株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	24,915,524株	2023年3月期3Q	24,930,626株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、非製造業を中心に経済活動の正常化が進む中、製造業においては、原材料及びエネルギー価格の高止まりや、地政学的な問題の継続、中国経済の減速等の影響を受け、景気回復の動きは緩やかなものとなりました。

当社グループ製品の主要需要先の状況といたしましては、自動車関連は半導体や部品不足の解消により生産台数の持ち直しが見られましたが、金型向けの工具需要は大きくは改善しませんでした。また、半導体や電子・デバイス関連も、全体的に低調に推移しました。海外向けでは、特に中華圏向けが引き続き低迷しました。

このような環境の中、当社グループでは、10月に開発センターにて「精密微細5軸セミナー」を開催し、3日間で150名のユーザー様にご参加いただきました。5軸制御マシニングセンタでの小径エンドミルを活用した精密微細加工をテーマとした講演会や加工実演を通じて、技術情報の発信と交換を行いました。

製品面では、無限コーティングプレミアムPlus高硬度鋼高精度加工用2枚刃ロングネックボールエンドミル「MRBSH230SF」の規格追加を行いました。

生産面では、原材料費や電力費の上昇分を補うため、生産効率化とコスト削減に継続して取り組む一方で、多品種適量生産により幅広い製品の在庫拡充を図りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,749百万円（前年同期比8.3%減）、営業利益は1,348百万円（同18.9%減）、経常利益は1,362百万円（同17.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は928百万円（同17.1%減）となりました。

製品区分別の売上高では、「エンドミル（6mm以下）」が5,321百万円（前年同期比7.3%減）、「エンドミル（6mm超）」が583百万円（同12.3%減）、「エンドミル（その他）」が337百万円（同17.9%減）、「その他」が507百万円（同6.9%減）となりました。

（注）報告セグメントが1つでありますので、製品区分別に記載しております。なお「その他」の事業セグメントは、製品区分別の「その他」に含めております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は311百万円減少し18,546百万円となりました。これは主に、法人税等や賞与の支払により現金及び預金が減少したこと等によるものであります。

また、負債は前連結会計年度末と比較して470百万円減少し、1,186百万円となりました。これは主に、未払法人税等や賞与引当金の減少等によるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して、利益剰余金の増加等により158百万円増加し17,359百万円となりました。なお、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は92.5%となっております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期業績予想につきましては、2023年10月31日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,497,445	8,205,281
受取手形及び売掛金	1,355,962	1,228,082
商品及び製品	1,382,932	1,354,049
仕掛品	287,258	250,565
原材料及び貯蔵品	650,308	773,921
その他	124,444	118,160
流動資産合計	12,298,351	11,930,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,538,963	2,498,273
機械装置及び運搬具(純額)	1,432,706	1,233,477
土地	800,483	800,483
建設仮勘定	496,119	729,128
その他(純額)	144,092	182,268
有形固定資産合計	5,412,365	5,443,631
無形固定資産	28,370	26,593
投資その他の資産		
投資有価証券	28,365	30,405
保険積立金	473,748	474,945
繰延税金資産	485,816	485,109
その他	130,620	155,283
貸倒引当金	-	△9
投資その他の資産合計	1,118,550	1,145,734
固定資産合計	6,559,285	6,615,958
資産合計	18,857,636	18,546,020

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	303,739	186,089
未払法人税等	364,470	85,155
賞与引当金	282,037	148,042
役員賞与引当金	102,927	60,856
その他	378,892	481,401
流動負債合計	1,432,066	961,543
固定負債		
長期未払金	224,952	224,952
固定負債合計	224,952	224,952
負債合計	1,657,018	1,186,495
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	455,330	455,330
資本剰余金	418,223	418,223
利益剰余金	16,168,839	16,390,715
自己株式	△112,713	△214,531
株主資本合計	16,929,679	17,049,737
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,855	6,282
為替換算調整勘定	50,449	99,581
その他の包括利益累計額合計	55,304	105,864
新株予約権	215,634	203,923
純資産合計	17,200,618	17,359,525
負債純資産合計	18,857,636	18,546,020

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	7,360,585	6,749,712
売上原価	3,418,957	3,079,946
売上総利益	3,941,627	3,669,765
販売費及び一般管理費	2,278,451	2,321,159
営業利益	1,663,176	1,348,605
営業外収益		
受取利息	37	62
受取配当金	863	695
助成金収入	1,412	-
作業くず売却益	13,037	15,451
その他	8,215	7,250
営業外収益合計	23,566	23,459
営業外費用		
賃貸費用	6,340	6,771
為替差損	26,534	2,279
その他	32	935
営業外費用合計	32,908	9,986
経常利益	1,653,834	1,362,078
特別利益		
固定資産売却益	1,848	1,646
特別利益合計	1,848	1,646
特別損失		
固定資産除却損	381	794
投資有価証券評価損	24,289	-
特別損失合計	24,671	794
税金等調整前四半期純利益	1,631,010	1,362,931
法人税等	510,952	434,357
四半期純利益	1,120,058	928,573
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,120,058	928,573

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,120,058	928,573
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,269	1,427
為替換算調整勘定	76,414	49,132
その他の包括利益合計	77,684	50,559
四半期包括利益	1,197,742	979,133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,197,742	979,133
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当社及び一部の子会社について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間において、「営業外費用」の「その他」に含めて表示しておりました「賃貸費用」は、営業外費用の総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた6,373千円は、「賃貸費用」6,340千円、「その他」32千円として組み替えております。